

平成 3 0 年度 学校版環境 I S O への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
天草	天草市	天草市立亀川小学校

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>児童の実態を踏まえ、環境委員会を中心に話し合い、宣言項目を考えた。</p> <p><b>児童の宣言</b></p> <p>【節水】水を大切に使います。</p> <p>【節電】電気を大切に使います。</p> <p>【ゴミの分別】学校をきれいにします。</p> <p><b>教職員の宣言</b></p> <p>【節電】 ○使わない時の O A 機器、電灯等のスイッチをこまめに切ります。</p> <p>【ゴミ減量】 ○紙の消費を抑え、再生紙を利用するとともに、裏紙の再利用を行います。</p> <p>○無駄をなくすとともに、消耗品・備品を大切に使い、購入を抑えます。</p> <p>【環境美化】 ○校舎・校庭の美化活動に努めます。</p> <p><b>水や電気の数値目標</b></p> <p>毎月、昨年度の月の使用量から 3 % 下回る。</p>
行動		<p>1 児童の取組</p> <p>ア 節水について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童がはみがきの時に、コップを使用しやすいように、はブラシ・コップ置き場を作る。</li> <li>・ ポスターで呼びかける。</li> <li>・ はみがきタイム時に、放送でコップ 1 杯の水でうがいをしようと呼びかける。</li> </ul> <p>イ 節電について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昼休み前と掃除前に、使わない教室や晴れている日は教室の電気を消すよう呼びかける。</li> <li>・ 使っていない電気製品はコンセントを抜き、待機電力を節約する。</li> </ul> <p>ウ ゴミの減量について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎週金曜日に、環境委員会が各教室のゴミを集め、分別状況をチェックし記録する。</li> </ul>



- ・ 教室には、燃やせるゴミと燃やせないゴミのゴミ箱を設置し、各階2箇所ずつ資源ゴミ用のゴミ箱を設置し、3種類に分別するように呼びかける。

エ 環境委員会の取組について

- ・ 学校の実態からISO宣言を考え決定し、それを児童集会で発表し全校児童で取り組むように働きかける。また、ISOクイズを行い、ISOへの関心を高めるよう取り組む。
- ・ 学校の環境美化に意識的に取り組めるように、「掃除名人コンクール」を計画・実施する。
- ・ 毎週金曜日、各教室のゴミを収集する。その際、ゴミの分別状況や掃除用具の整理整頓状況をチェックし、「ISO点検シート」に記入して掲示する。
- ・ 月に1回の委員会活動の際、各階2箇所ずつ設置してある資源ゴミの収集をする。
- ・ EM菌をプールに散布し、来年度プールの清掃をする際、薬剤を使用せず、少しでも少ない水で掃除ができるようにする。
- ・ おもいやりゴミ箱（児童が落ちているゴミを進んで拾った時に入れる）を設置する。月に1回の委員会活動の際、全部のゴミ箱を集めて、どのクラスが一番多いか調べ、次の日の給食時の放送で、調べた結果を発表する。

2 職員の取組

ア 節電について

- ・ 節電を呼びかける張り紙をする。

イ ゴミの減量について

- ・ 裏紙コーナーを設置し、職員に配布する資料等は裏紙を使う。
- ・ 資源ゴミコーナーを設置し、燃やせるゴミを減らす。
- ・ ゴミの分別を細かく行う。

ウ 環境美化について

- ・ 児童と一緒に、毎日清掃活動に取り組む。
- ・ 夏季休業中に職員作業で、担当箇所を振り分けて不要な物を分別して処分し、環境美化に努めた。

3 家庭の取組

年2回（夏休みと冬休み）に、家庭版環境ISO宣言項目を3つ決めて、3日間実施してカードに記録するという取組

		<p>を行った。「親子で意識して取り組めた。」「これからも続けていきたい。」「今まで使い方がよくなかったことが分かった。」など感想があった。家庭の取組率は8割程度であった。</p>
<p>記録</p>		<p>1 児童による記録 各教室の分別状況や掃除用具の整理整頓の状況を◎○△の3段階で評価し、各教室に年中掲示し、意識化を図る。</p> <p>2 職員による記録 月の水道使用量、電気使用量を折れ線グラフに表し掲示する。また、昨年度との比較ができるように、昨年度のデータも合わせて載せる。</p>
<p>見直し</p>	<p>1 節水について 水道使用量の数値が昨年度と比べて7月と9月は50%上昇していた。7月、9月は猛暑で花壇への水掛やプールへの加水が原因だと考えられる。コップ一杯の水ではみがきを行う習慣はほとんどが身に付いてきているが、手を洗うときに水が流しっぱなしや手洗いの掃除をする際、水を必要以上に流しっぱなしにしている現状がある。児童の意識を高め、取り組む項目を絞り期間を設けて取り組むことも必要である。</p> <p>2 節電について 電気使用量の数値が昨年度と比べてほぼ変わらなかったが、目標の3%を下回るまでにはっていない。晴れた日の昼休みや掃除時間は、校内放送の呼びかけが毎日あるので、節電ができていた。しかし、コンセントを差したままによる待機電力の消費に対する意識はまだ低いので、学校全体に呼びかけていきたい。</p> <p>3 ゴミの減量について 毎週金曜日のゴミ収集の際、分別状況を見るとまだ良いとは言えない状況である。ゴミの分別について、児童がもっと視覚的に分かるような工夫を掲示物等で行い意識を高めていきたい。</p>	

## 2 成果と課題

成 果	課 題
<p>【児童の取組について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の児童が中心となり、活動を行ったので、自分たちで課題を改善していこうとする自主性が育てられた。</li> <li>・個人差はあるが、全体的に節水、節電、ゴミの分別に対して意識することができた。</li> <li>・ISO点検シートの活用で、各学級の取組状況を振り返り改善するきっかけとなった。</li> <li>・家庭版環境ISO宣言項目実施を行ったの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道使用量は昨年度より2%増、電気使用量は昨年度と変わらない数値であった。</li> <li>・節電、節水に対する意識は出てきているものの、数値としての結果はよくなかったので、校内放送で月の取組状況の結果を報告するなどして、意識が継続するようにする。</li> <li>・家庭での取組は、3日間ずつ行ったが、その後が続いているか分からない。啓発を定期的に続けていく必要がある。</li> </ul>

<p>で、環境意識を家庭ぐるみで、高めあうことができるようになった。</p> <p><b>【職員の取組について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・以前より継続して取り組んでいる、裏紙の使用や印刷機等の待機電力の節電に対する意識が定着している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミの分別がきちんとできていない実態があるので、分別の仕方が分かるような掲示物を作成したり、一人一人の意識を高めたりする必要がある。</li></ul>
--	---